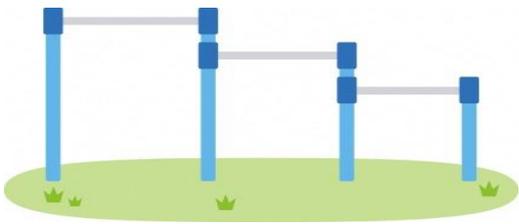
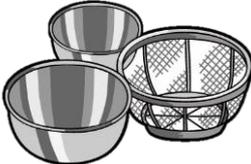
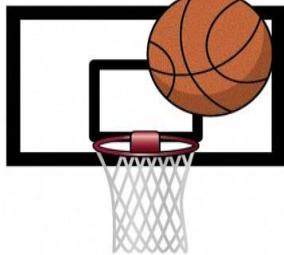


対象学年	小1 (いちねんせい)	教科	生活 (せいかつ)	難易度	★☆☆☆
単元	がっこうだいすき (東京書籍) / いくぞ! がっこうたんけんたい (啓林館)				
課題	なにをするものかな?				
課題の説明	<p>◇えをみてかんがえよう。しょうがっこうにあるものだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> •なんていうなまえか、しているかな。 •がっこうのどこにあるのかな。 •どうやってつかうのかな。 •だれがつかうのかな。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>① </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>② </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>③ </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>④ </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑤ </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑥ </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑦ </p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑧ </p> </div> </div> <p>《お家の方へ》</p> <ul style="list-style-type: none"> •自分の小学校について考えるための動機付けとして設定した課題です。 •お家の方とクイズ形式で楽しむ中で、「あ、これ、知ってる!」「幼稚園にもあったね。」「これ、何だろう?」「どうやって使うのかな?」など、お子さんからたくさんの思い(つぶやき)が出てくると思います。 •分からないものは、①お家の方が説明する②ジェスチャーなどでヒントをあげる③一緒に考えながら「今度、学校の先生にきいてみようね」と疑問のままにしておく…等、お子さんの様子に応じてご対応ください。 				
解決のヒント	<p>○知らないものは、おうちのひとにきいてみよう。</p> <p>○ようちえん・ほいくしょ・ほいくえん・こどもえんにも、にたようなものがあったかな。</p>				

対象学年	小1 (いちねんせい)	教科	生活 (せいかつ)	難易度	★★☆☆
単元	がっこうだいすき (東京書籍) / いくぞ! がっこうたんけんたい (啓林館)				
課題	しょうがっこうには、どんなものがあるのかな。				
課題の説明	<p>◇しょうがっこうにあるものを、おうちのひととはなしてみよう。</p> <p>①たてもの(こうしゃ)は、いくつあるかな。なんかいだけかな。</p> <p>②たくさんのへやがあるよ。どんなへやがあるか、しているかな。 そのへやには、どんなものがおいてあるかな。</p> <p>③たてもの(こうしゃ)のそとにも、いろいろなものがあるよ。しているもの、あるかな。 そこには、どんなものがおいてあるかな。</p> <p>《お家の方へ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学時健診や体験入学等の思い出も踏まえながら、小学校にある教室や施設などについて知っているものがあるか、お子さんに聞いてあげてください。 ・お子さんから出されたものについて、「どういう時に使うのかな。」「どんな物が置いてあるのかな。」等と問いかけ、詳しくお話を聞いてあげてください。 ・教科書をお子さんと開いてみてください。写真等が、考えるためのヒントにもなります。 ・「他にも、こんなものがあるよ。」と、お家の方がかつて通われた小学校にあったもの(特別教室・給食室・職員室・保健室・体育館・運動場・飼育小屋など)や、そこに設置されていた物について説明し、「〇〇ちゃんの小学校にも、同じようにあるのかな。」「どこにあるんだろう。見つけてみたいね。」と、お子さんが自分の学校への興味を深められるような言葉かけをしてください。 				
解決のヒント	<p>○きょうかしよをみてみよう。しゃしんや えが、ひんとなるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうだいすき」4(よん)ぺえじから19(じゅうきゅう)ぺえじ ・「わくわくせいかつ」2(に)ぺえじから13(じゅうさん)ぺえじ <p>○おうちのひとがこどもだったころのしょうがっこうには、なにがあったのかな。 おうちのひとにきいてみよう。</p>				
参考資料	<p>NHK for school 『おばけの学校たんけんだん』 第1回「わくわく学校たんけん」 http://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280011_00000</p>				

対象学年	小1 (いちねんせい)	教科	生活 (せいかつ)	難易度	★★☆☆
単元	がっこうだいすき (東京書籍) / いくぞ! がっこうたんけんたい (啓林館)				
課題	しょうがっこうには、どんなひとたちがいるのかな。				
課題の説明	<p>◇しょうがっこうにいるひとたちのことを、おうちのひととはなしてみよう。</p> <p>①みなさんは1(いち)ねんせい。ほかに、なんねんせいのひとたちがいるのかな。</p> <p>②しょうがっこうにいるおとなには、どんなひとたちがいるのかな。</p> <p>③しょうがっこうにいるおとなのひとたちは、どんなことをしているのかな。</p> <p>《お家の方へ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学時健診や体験入学等の思い出や、教科書の写真等も参考にしながら、小学校にいる人たちについて、お子さんに聞いてあげてください。 ・「他にも、こんな人がいるよ。」と、お家の方がかつて通われた小学校にいた人(校長先生・教頭先生・保健室の先生・用務員さん・図書先生・給食調理員さんなど)について説明し、「〇〇ちゃんの小学校にも、いるかな。」「どんな人だろう。会ってみたいね。」と、お子さんが自分の学校への興味を深められるような言葉かけをしてください。 ・幼稚園等での生活を振り返り、どんな人たちがいたかを思い出すことが、考えるきっかけになり、「りす組は〇〇先生、さくら組は□□先生だったのと同じで、1年1組には◇◇先生だね。」「園長先生は、小学校では校長先生って言うのか。」「幼稚園はお弁当だったけど、小学校ではお昼ご飯(給食)を作ってくれる人がいるんだな。」など、小学校との共通点や相違点に気付くことにもつながります。 ・教職員との関わりだけでなく、同学年のお友だちや上級生のお兄さん・お姉さんの存在についても意識できるよう、お子さんとお話してみてください。(例:「同じ保育所じゃない人とも、早くいっぱい遊んで仲よくなりたいね。」「近所の〇〇くんは、何年生なのかな。」「困ったことがあったら、クラスのお友だちや登校班のお兄さん・お姉さんに何でもきいてみるといいよ。」など) 				
解決のヒント	<p>〇ようちえん・ほいくしょ・ほいくえん・こどもえんには、どんなひとたちがいたかな。</p> <p>〇きょうかしょをみてみよう。しゃしんやえが、ひんとになるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうだいすき」4(よん)ぺえじから19(じゅうきゅう)ぺえじ ・「わくわくせいかつ」2(に)ぺえじから13(じゅうさん)ぺえじ <p>〇おうちのひとがこどもだったころのしょうがっこうには、どんなひとがいたのかな。</p> <p>おうちのひとにきいてみよう。</p>				
参考資料	<p>NHK for school 『おばけの学校たんけんたん』 第1回「わくわく学校たんけん」</p> <p>http://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280011_00000</p>				

対象学年	小1 (いちねんせい)	教科	生活 (せいかつ)	難易度	★★☆☆
単元	がっこうだいすき (東京書籍) / いくぞ! がっこうたんけんたい (啓林館)				
課題	がっこうにいくとき・がっこうからかえるとき				
課題の説明	<p>◇いえからがっこうまでのみちをおもいだして、おうちのひととはなしてみよう。</p> <p>①みちのとちゅうに、どんなものがあるかな。</p> <p>②みちのとちゅうで、であうひとはいるかな。</p> <p>③がっこうのいき・かえりで、きをつけることはなにかな。</p> <p>《お家の方へ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の写真等も参考にしながら、通学路の様子について、お子さんに聞いてあげてください。 田んぼや畑、きれいな花壇のあるお家、お店などでも構いませんし、信号や横断歩道、歩道橋、標識などでも構いません。「あの畑、今は何が作られているのかな。」「信号がちかちか点滅したら、どうする？」等、出されたものから話をふくらませてください。 地域の方や安全ボランティアさん等について話し、子どもたちが安全に登下校できるように、いろんな人たちが見守ってくれていることを説明してあげてください。「いつもありがとう！」の気持ちを込めて、自分から挨拶できるようになると素敵ですね。 登下校中に気を付けることには、「決められた道(通学路)を通る」「信号を守る」「歩道を歩く」「車に気を付ける」等が考えられますが、他にも子どもならではの感覚でお子さんが必要だと感じたルールや約束事が出されたら、大いに認め、ほめてあげてください。また、集団登校の場合には「集合時刻を守る」「きちんと並んで歩く」等も考えられます。 				
解決のヒント	<p>○ようちえん・ほいくしょ・ほいくえん・こどもえんのときと、おなじところはおるかな。</p> <p>○きょうかしょをみて、かんがえてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「がっこうだいすき」22(にじゅうに)ぺえじ、23(にじゅうさん)ぺえじ 「わくわくせいかつ」1(に)ぺえじ、14(じゅうよん)ぺえじ、15(じゅうご)ぺえじ <p>○がっこうのいき・かえりにおるきめられたみちを「つうがくろ」というよ。</p> <p>○がっこうにいくことを「とうこう」、がっこうからかえることを「げこう」というよ。</p> <p>りょうほうあわせて「とうげこう」というよ。</p>				

対象学年	小1（いちねんせい）	教科	生活（せいかつ）	難易度	★★★☆☆
単元	がっこうだいすき（東京書籍）／いくぞ！がっこうたんけんたい（啓林館）				
課題	がっこうをたんけんするとしたら……				
課題の説明	<p>◇もし、じぶんのすきなようにがっこうをたんけんするとしたら、さあどうする？ おうちのひととはなしてみよう。</p> <p>①だれといこうかな。それとも、どきどきのひとりたんけんしちゃれんじする？ ②どこにいこうかな。なにをみようかな。 ③だれとあおうかな。なにか、ききたいことはあるかな。</p> <p>◇こんなとき、なんていえばいいかな。おうちのひとにいてみよう。</p> <p>①せんせいたちがいるへや「しょくいんしつ」にはいりたいとき ②こうちょうせんせいがあるへや「こうちょうしつ」をみせてもらって、でていくとき ③ほんがたくさんあるへや「としょしつ」のかぎをかしてほしいとき ④じぶんのくらすのへやがわからなくなってしまって、もどれないとき</p> <p>《お家の方へ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの課題を踏まえ、「もし自分の行きたいように学校探検ができるとしたら…」というテーマで、お子さんに話を聞いてみてください。 ・「音楽室」「給食室」と特別教室をこたえる場合もあれば、「砂場」「(上級生の)〇〇ちゃんがいる部屋」「(兄弟の担任の)□□先生のところ」といったこたえ方をするお子さんもいるかも知れません。どこを選んでも自由です。「どうしてそこに行きたいの?」「そこに行っ、何をやるの?」「どんなこと話したい?」等、お子さんの考えが広がっていくように言葉かけをしてください。 ・お家の方が先生役になり、実際にお子さんがやりとりするといった方法(ロール・プレイング)も考えられます。「失礼します。」「こんにちは。」「入ってもいいですか。」など、入室時にも様々な言い方ができます。お子さんの言い方を認めつつ、「こんな言い方もできるよ。」と、言葉(語彙)を豊かにするための言葉かけをお願いします。 				
解決のヒント	<p>〇きょうかしょにでてくるひとたちは、どこにいてるかな。なんていてるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうだいすき」4(よん)ぺえじから19(じゅうきゅう)ぺえじ ・「わくわくせいかつ」2(に)ぺえじから13(じゅうさん)ぺえじ <p>〇といれにいきたくなったとき、「せんせい、といれ。」じゃなくて、「せんせい、といれにいけます。」とか「といれにいきたいです。」というふうに、ていねいにいえるといいよね。</p>				
参考資料	NHK for school 『おばけの学校たんけんたん』 第1回「わくわく学校たんけん」 http://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280011_00000				

対象学年	小1 (いちねんせい)	教科	生活 (せいかつ)	難易度	★★★★
単元	がっこうだいすき (東京書籍) / いくぞ! がっこうたんけんたい (啓林館)				
課題	こんなとき、どうする?				
課題の説明	<p>◇こんなとき、どうすればいいかな。おうちのひととはなしてみよう。</p> <p>①あさ、がっこうに行くとき、おさんぼちゅうのいぬをみつけたよ。 かわいいかわいいいぬ。ちかづいて、だっこしたいなあ。</p> <p>②がっこうについてにもつをかたづけていたら、こくごのきょうかしよがないよ。 おうちにわすれてきたみたい。どうしよう、3じかんめこくごなのに。</p> <p>③やすみじかんに、くらすのみんなとおにごっこ。たのしいな。 あ、〇〇くんがころんじゃった。ひざをすりむいて、なっているよ。</p> <p>④きょうのきゅうしょくは、やさしいため。きれいなにんじんがはいってる。 いっぱいはいっているなあ。食べたくないなあ。</p> <p>⑤そうじじかん。ほうきをつかっていたら、□□さんが「それ、わたしがつかいたいの。 かして。」とやってきた。どうしよう。ぼくだって、つかいたいの。</p> <p>⑥きょうは、はじめての5(ご)じかんめのおべんきょう。よし、がんばるぞ。 せんせいが「……わかるひと、てをあげて。」とやってるよ。ぼく(わたし)、それし てる!でも、まちがってたら どうしよう。てをあげるの、どうしようかな。</p> <p>⑦かえりのよういをしているときに、といれにいきなくなっちゃった。せんせいは「よ ういができたらすわりましょう。」とやってたけど、このままだと もれちゃいそう。</p> <p>⑧「さようなら」をしてろうかにでたら、となりのせきの◇◇ちゃんが「つくえのうえ にわすれてたよ。」ってきゅうしょくぶくろをもってきてくれたよ。うれしいな。</p> <p>⑨がっこうのもののところで、ちいきのおじさんがくさをしていたよ。あせびっし りだ。くさがぼうぼうだったところが、とってもきれいになったよ。</p> <p>⑩しゅくだいをしてから、ともだちとこうえんにきたよ。どっしほおるがしたいんだ。 でも、あれれ。ほかのこたちがどっしほおるをされていて、もうできるばしょがないよ。</p> <p>《お家の方へ》</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの課題を踏まえつつ、学校生活で起こりうるシチュエーションにどう対応する かを考えるのが今回のテーマです。 「答え」は一つではありません。また、明確な「正解」がないものもあります。お子さん の話に耳を傾け、共感するとともに、「お母さんなら、こうするかな…」とご自身の考え を伝えたり、「他に、方法はないかな…」とさらに投げかけたりして、多様な対応の仕方 があることを実感させてあげてください。 お家の方とお子さんで、実際に想定場面をやりとりするという方法(ロール・プレイング) も効果的です。役を入れ替えてやってみると、また違った気付きがあるかも知れません。 上記シチュエーション以外にも、お家の方が小学校生活で実際に遭遇された出来事をも とに考えるのも面白いですね。「お父さんが小さい時にね…」と話してくれる経験談を、 きっとお子さんは興味津々で聞き入ることでしょう。 				
解決のヒント	<p>○おうちのひとも、むかしはしょうがくせい。がっこうのことでわからないことがあつた ら、どんどんおうちのひとにきいてみよう。もちろん、がっこうのせんせいたちも、み なさんのつよいみかただよ。なんでも きいてね。</p> <p>○これから、なにかこまったことがあつたら、せんせいやおうちのひとに なんでもはなし てね。せんせいもおうちのひとたちも、みなさんのことをいつでもおうえんしています。</p> <p>○でも、きょうのおべんきょうみたいに、じぶんでかんがえてみることもとてもだいじ。 じぶんでかんがえてみて、それでもわからないときには、どんどんひとにききましょう。</p>				